王座決定戦(案)

出場チームは各リーグ2チームとし、原則各リーグ1位・2位のチームとします。
上記のチームに代わり、同リーグチームの出場可とします。その選抜は各リーグで決定して下さい。
各試合棄権の場合は、試合前日までに事務局までご報告お願いします。その場合は
相手チームは不戦勝となります。
第一回戦の前日まで、チーム変更可とします。その場合、事務局まで報告お願いします。
王座決定戦の組み合わせ及びスケジュールは別に示す、トーナメント表によります。

●2009年大会日程	Aグループ	1回戦・2回戦	10月25日(日)	勢和台グラウンド
		1回戦・2回戦	11月 1日(日)	多気グラウンド
	Bグループ	1回戦・2回戦	10月25日(日)	四日市中央緑地公園
		1回戦・2回戦	11月 1日(日)	四日市北条球場
	準決勝・決勝戦		11月15日(日)	津市芸濃グラウンド

大会ルール(案)

同一所属リーグチーム間の試合は、所属リーグのルールを適用可とします。その他の試合は、
日本野球連盟(プロ野球)・パシフィックリーグ(投手のみ指名打者制)を採用する。(指名打者制採用無しも可)
試合イニングは、1回戦・2回戦・準決勝は7イニング制、決勝戦は9イニング制とします。
試合は大会指定の時間内制限とし、5イニング終了で試合成立、不成立は再試合とします。
時間内延長戦ありとし、引き分けの場合は、9人ｼﾞｬﾝｹﾝで勝敗を決めます。
試合時間の制限等は、各試合前に関係者から指示します。
得点差によるコールドは、所属リーグ間の試合は各リーグのルールを適用し、その他の試合は、
5イニング10点差以上を採用し、決勝戦のみ5イニング15点差以上、7イニング10点差以上を採用します。
試合会場(球場)の特別ルールは、関係者・審判の協議の上、両チーム代表者の承諾の上決定します。

●審判制
(違うリーグ間の場合)

1回戦・2回戦の審判は、主審のみの1審判制とします。
(場合により、主審・1塁審判・3塁審判の3審判制を採用)
準決勝・決勝戦は、主審・1塁審判・3塁審判の3審判制を採用します。(場合により四人制を採用)
2塁上の判定は、三塁審判を優先し、状況により三人審判の判断によるものとします。

●その他ルール
(違うリーグ間の場合)

ユニホーム着用ルールはありませんが、なるべく着用お願いします。
出場選手は各リーグ戦を戦った選手が原則ですが、助っ人は4人まで可とします。
助っ人はバッテリー禁止とし、打順は9番から降格順として下さい。
助っ人についてはあくまでも自己報告で、違反の場合、試合不成立等は
ありませんが、所属選手で勝利することに意義がある大会ですので、各チームの良識
におまかせいたします。
試合球は、公認A球　試合前に新球2個提出
試合前に打順表の交換を行い、審判にも提出お願いします。
ファウルボールは攻撃側が拾い、紛失の場合攻撃側が補充し、試合後公平に分配
インフィールドフライの宣告が遅れた場合、ボールデットの場合等、判断が難しい状況等が
発生した場合は、両監督は審判に協力し指示に従うようお願いいたします。
又、対戦する相手チーム、審判には、共に敬意をもって試合を行い、試合中の暴言、
中傷するような事は避け、試合を円滑に行えるよう協力お願いします。
又、イニング間・選手交代・アウト間のプレーは敏速に行い、隠し球等遅延行為は避け
規定イニングまで円滑に終了できるよう御協力お願いいたします。

●指名打者制

指名打者制(DH制)を採用する場合は以下のルールとします。

・指名打者は、投手にだけ代わって打つ
・DH制を採用する場合は、試合前に相手チームと交換するメンバー表に記載する。
・DHに代打起用可とし、その打者がその後ＤＨになる。(代走の場合も同じで、その後その代わりのDHも指名可)
・DHが途中投手になることは可とし、DHが他守備についてもDH制はなくなり、その場合DHの打順はそのままで、それまで守備についていた選手の打順に投手が入る。
・投手が他守備につたらDH制はなくなり、その投手だった選手はDHだった打順にはいる。
・投手がDHの選手の代わりに打者になった場合、DH制はなくなる。
※まとめますと、DHの選手は、途中投手にも他守備にもつけることができ、また、投手も途中他守備にもつけ、打者にもなれます。